

授業科目名・形態	女性の健康支援 演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	工藤 優子・日沼ゆかり	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

妊娠期から産褥期における健康診査、社会制度などの法的根拠について学習する。また科学的根拠に基づいた助産ケアおよび保健指導について理解を深める。母乳育児をはじめとした育児支援技術や、乳幼児の健康診査について学習する。出産準備教育として母親教室を企画・開催する。また、家族計画と受胎調節実地指導員について学ぶ。

【到達目標】

1. 妊娠期から産褥期における支援の法的根拠を理解できる
2. 妊娠期の助産ケア・保健指導の実際について理解を深める。
3. 育児支援、母乳栄養確立への支援について理解を深める。
4. 親となる人たちへの支援について理解を深める。

【授業計画・内容】

第1回	妊娠期の助産の法的根拠とケアの実際①	(工藤)
第2回	妊娠期の助産の法的根拠とケアの実際①	(工藤)
第3回	親となるひとたちへの支援①	(工藤)
第4回	親となるひとたちへの支援②(出産準備教育(企画書作成))	(工藤)
第5回	母乳育児支援①(乳汁分泌機序、母乳の利点、DVD鑑賞)	(工藤)
第6回	母乳育児支援②(乳房の観察方法・授乳姿勢の観察方法、指導方法)	(工藤)
第7回	出産準備教育①	(工藤)
第8回	出産準備教育②	(工藤)
第9回	家族計画と保健指導	(工藤)
第10回	妊娠期の保健指導①	(日沼)
第11回	妊娠期の保健指導②	(日沼)
第12回	妊娠期の保健指導③	(日沼)
第13回	妊娠期の保健指導④	(日沼)
第14回	妊娠期の保健指導⑤	(日沼)
第15回	妊娠期の保健指導⑥	(日沼)

【授業実施方法】

講義・演習

【授業準備】

講義内容をふまえ、関連する教科書の範囲を読んでおくこと。講義終了後は授業内容をまとめ復習をすること。

【主な関連する科目】

基礎助産学、助産診断・技術学Ⅰ、Ⅲ、Ⅳ

【教科書等】

助産学講座3、4、5、6、7、8、医学書院

カラー写真で学ぶ 新生児の観察と看護技術、周産期の看護技、妊産婦のケア、医歯薬出版株式会社

【参考文献】

随時資料配布

【成績評価方法】

筆記試験 80%、演習・レポート 20%により総合的に評価する

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

実務経験あり。

助産師としての実務経験を踏まえ、事例などを提示し、講義内容の理解が深まるように工夫している。

【学生へのメッセージ】

周産期にある女性と新生児をケアするための実践的な講義です。臨床場面をイメージし、なぜそのようにするのかなど根拠を考えながら学習しましょう。